

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	3年		
教科等名	国語・算数		グループ名	1グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 理解できる言葉やシンボルを増やす。 身振りや声で伝える力を伸ばす。身の回りのものに気付き、操作しながら、関連のあるもの同士を対応させる力を伸ばす。 言葉のもつ良さに気付き、思いをもって人と関わろうとする態度を養う。 					
担当教員	○林 美紀 松田 喜代美 楠森 誠					
年間授業時数	140(1組) 140/245(2組、4組)					
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5	名前を知ろう 「あっちやんあがつく」	20		<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見る、聞く。 好きな食べ物を選ぶ。 食べ物の名称を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や演じている教員に視線を向けることができる。 食べ物の名称に興味をもち、教員の働き掛けに指さしなどで応じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景を整理し見やすくする。 言葉掛けを精選する。
6 7	やりとりをしよう 「おみせやさん」	20		<ul style="list-style-type: none"> パネルシアターを見る、聞く。 お店に売られている物の名称を知る。 好きな物を選んで「ください」などの身振りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の音やリズムに関心をもって見聞きすることができる。 身の回りの物の名称に興味をもち、教員の働き掛けに指さしなどで応じることができる。 簡単な身振りでやりとりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本をリズムよく読む。 言葉掛けを精選する。 分かりやすく手本を示す。
9	探してみよう 「きんぎょがにげた」	15		<ul style="list-style-type: none"> 指示された絵カードを探す。 見付けて来た物を絵人形に配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本と同じ絵を探すことができる。 物と物とを対応させて配ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れたら選択肢の数を増やしていく。 操作しやすい教材を使用する。
10 11	入れてみよう 「くらべてマンボ」	20		<ul style="list-style-type: none"> 入れ子になっている箱や容器を順に重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大小の箱を見比べ、大きい箱に小さい箱を入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手本を示す。 操作をとおして、試行錯誤しながら思考できるようにする。
11	はっぴょうかいをしよう	15		<ul style="list-style-type: none"> 道具を持ち簡単な動作をする。 繰り返し出てくるセリフに合わせ声を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の動作を模倣できる。 合図に合わせて声を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本を分かりやすく示す。 毎回同じやり方で練習する。
12	おはなしをきこう	10		<ul style="list-style-type: none"> 図書館職員による絵本の読み聞かせを見聞きする。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の音やリズムに関心をもって見聞きすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に同じ絵本に親しみ、知っていることとして受け止められるようにする。
12 1	形で遊ぼう 「まるさんかくしかく」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> パネルシアターを見る、聞く。 型はめ、形合わせ、球体と立方体の分類をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵人形や教員の動きに注目したり、目で追ったりすることができる。 色板や立体の形に注目し、同じ形の上に置くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アプリ「はらぺこあおむしいろかたち」など。 触ることで形を認識できるようにする。
2 3	再現遊び 「おうちごっこ」	20		<ul style="list-style-type: none"> 物を機能的に扱う。 日用品の名称を知る。 日常生活動作の模倣をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物の名称や用途が分かり、簡単な動作をすることができる。 いろいろな筆記用具に興味をもち、書いてみるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> することが分かりやすいよう、環境設定を行う。 手元に視線が向くよう姿勢に配慮する。
通年	名前呼び	通年		<ul style="list-style-type: none"> 名前を呼ばれて返事をする。 写真カードや名前カードを枠に貼る。 人数を数える。 	<ul style="list-style-type: none"> 名前を呼ばれたことに気付き、挙手や発声で応答することができる。 手元に視線を向けながら、枠に合わせてカードを貼ることができる。 5までの範囲で数を唱えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 意識を向けていることを確認してから、名前を呼ぶ。 視認性のよい枠を使用する。 リズムよく数える。
	遊具遊び	通年		<ul style="list-style-type: none"> ブランコやバールンボールなどに乗り、10数える。 「交代タッチ」や「どうぞ」などのやりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 数詞、数のまとめ、数え方を生活に生かそうとすることができる。 身振りや簡単な言葉を使って人と関わることができる。 カードでやりたいことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「10」を強調して数を唱える。 初めは教員と一緒にいき、少しずつ支援を減らしていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	3年		
教科等名	国語・算数		グループ名	2グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 理解できる言葉やシンボル、文字を増やす。5までの数の数え方や表し方が分かる。 言葉でイメージする力、身振りや声で伝える力を伸ばす。身の回りにある数的要素に気付き、関連付けたり分類したりする力を伸ばす。 言葉や文字、数で表す良さに気付き、学んだことを生活の中で活用しようとする。 					
担当教員	○番田 洋子 小林 幹太					
年間授業時数	140/245					
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5	名前を覚えよう 「あっちゃんあがつく」	20		<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見る、聞く。 食べ物の名称を知る。 名称を聞いて絵カードを取る。 食べ物の数を数える。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見て、好きな場面を伝えることができる。 様々な食べ物の名称を知り、語彙を増やす。 指をさしながら数字を言い、数を数えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食食材と結び付けるなど、経験と合わせて言葉を学べるようにする。 数唱と指さしが合うよう支援する。
6 7	やりとりをしよう 「おみせやさん」	20		<ul style="list-style-type: none"> パネルシアターを見る、聞く。 品物を、果物屋と洋服屋などに分類する。 好きな物を選んで、買い物をする。 	<ul style="list-style-type: none"> パネルシアターを見て、知っていることを伝えたり、次の場面を予想したりすることができる。 食べ物、着る物など、関係の深いもの同士を結び付けることができる。 「いらっしゃいませ」「ください」などの、簡単なやりとりをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表現を引き出すよう、間の取り方を工夫する。 物を操作することで、考えたり答えたりできるようにする。 分かりやすく手本を示す。
9	探してみよう 「しりとりしましょ」	15		<ul style="list-style-type: none"> 指示された食べ物カードを探す。 指示された語頭音の付く食べ物カードを探す。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、最初の一音が指示と合う絵カードを選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 語頭音を分かりやすく伝え、言葉を音に分解することに慣れるようにする。
10 11	入れてみよう 「くらべてマンボ」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> 入れ子になった大中小の箱を順番に重ねる。 多少、長短を分類する。 「大きい」「小さい」を身体を使って表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさに注目し、身の回りの物を大中小や長短に分類することができる。 大小や多少などで区別することに関心をもち、大きさを表す用語で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物を操作して実感する経験を大切にしている。 アプリで比較の学習を行う。
11	はっぴょうかいをしよう	15		<ul style="list-style-type: none"> 模擬劇を見る。 動作や台詞を覚えて演じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な話の展開が分かる。 教員の動作を模倣できる。 合図に合わせて、声を出したり言葉を言ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく手本を示す。 同じ合図で繰り返し練習する。
12	おはなしをきこう	10		<ul style="list-style-type: none"> 図書館職員による絵本の読み聞かせを見聞きする。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本に興味をもち、見聞きすることができる。 絵本を読み、知っていることや好きな場面を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> お話会と同じ本をその後の授業でも扱い、内容について話す機会をもつ。
12 1	形で遊ぼう 「まるさんかくしかく」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> 丸三角四角の歌を歌う。 形の分類をする。 下絵の上に形の板を置き絵を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 形に注目して、丸三角四角の板を形ごとに分けることができる。 形に関心をもち、簡単な構成ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アプリで形合わせの学習を行う。 具体物を操作しながら考えることができるようにする。
2 3	再現遊び 「おうちごっこ」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> 日用品の用途を理解する。 動作語を聞いて、日用品を用いた動作をする。 ごっこ遊びでやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものを使用した動作ができる。 自分がやってみたい動作を、動作語を用いて伝えることができる。 教員や友達の言葉を聞き、言葉や身振りで応じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動作をし、経験しながら言葉を覚えられるようにする。 教員が分かりやすく手本を示す。
通 年	てあそび・まねっこしよう	通年	○	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び、じゃんけん遊び、動作模倣をする。 わらべ歌遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の正中線を越える動作や、左右非対象の動作を模倣することができる。 わらべ歌独自の言い回しやリズムに慣れまねて言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく手本を示す。 楽しい雰囲気で行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	3年		
教科等名	国語・算数		グループ名	3グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・読める文字を増やす。10までの数の数え方や表し方が分かる。 ・言葉でイメージする力、伝え合う力を伸ばす。比べたり分類したりする力を伸ばす。 ・言葉や文字、数で表す良さに気付き、学んだことを生活の中で活用しようとする。 					
担当教員	立山 史織					
年間授業時数	140/245					
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5	文字を知ろう 「あっちゃんあがつく」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名50音を読む、書く。 ・絵と文字を正しく組み合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名を読むことができる。 ・十字、三角、四角や簡単な平仮名を書くことができる。 ・様々な筆記用具を使い、意欲的に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な文字から指導する。 ・字形や筆順は、なぞりがきアプリなどを使用し、個別に指導する。 ・姿勢や持ち方を確認する。
6 7	数えてみよう 「おみせやさん」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言われた数だけ、物を取り出す。 ・数を唱えて言ってみる。 ・いろいろな店の名前を知り、それぞれの店で売っているものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇個ください。」という指示に応じることができる。 ・個々の名称(りんご、みかん)を聞き、それらの総称(果物)を答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、ドットカードを示す。 ・歌や絵本を通して、楽しみながら理解できる言葉が増えるようにする。
9	わなげをしよう	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・〇×を用いた簡単な表を作成する。 ・〇を磁石に置き換えることで移動して対応させ、数の多少を比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇×を用いた簡単な表を見て、投げる順番や入った数分かる。 ・物と物とを対応させることによって、「多い少ない」や「同じ」が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ表の一部を隠し、注目する部分を分かりやすくする。 ・実際の操作をとおして実感できるようにする。
10	比べてみよう 「くらべてマンボ」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物を重ねたり積んだりして比較する。 ・大中小を身体で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の長さ、重さ、高さ、広さなどの、量の大きさが分かる。 ・「大きい」「小さい」「中くらい」などの用語が分かり、身体を動かして表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を操作して実感する経験を大切にす。 ・アプリで比較の学習を行う。
11	はっぴょうかいをしよう	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬劇を見る。 ・動作や台詞を覚える。 ・声の大きさに気を付けて台詞を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の展開や自分の役割が分かる。 ・簡単な台詞を言ったり動作をしたりして演じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ流れで繰り返し練習する。
11 12	あつめてみよう 「かたちあつめ」	10	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の分類。 ・色板を組み合わせて形を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形に注目し、身の回りの物を丸三角四角に分類することができる。 ・図形を組み合わせて見本と同じ図形を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリで形合わせの学習を行う。
12	おはなしをきこう	20		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員による絵本の読み聞かせを見聞きする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に興味をもち、集中して見聞きすることができる。 ・簡単な話の流れが分かり、内容についての質問に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話会と同じ本をその後の授業でも扱い、内容について話す機会をもつ。
12 1	しりとりをしよう 「しりとりしましょ」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・音節分解をする。語頭音・語尾音を答える。 ・カードを使ってしりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を叩きながら言葉を言い、語頭音や語尾音を答えることができる。 ・選択肢の中から、しりとりがつながるようカードを選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手拍子に合わせて文字を指し示す。 ・選択肢の数をだんだん増やしていく。
2 3	かいものにいこう	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんとお客さんになり、買い物ごっこをする。 ・数字カードを読む。 ・硬貨の枚数を数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物場面でのやりとりの会話ができる。 ・硬貨を数え、求められた枚数を渡すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の型を用いて練習する。 ・操作しやすい教材を使用する。
通 年	てあそび・まねっこしよう	通年	○	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び、じゃんけん遊び、動作模倣をする。 ・わらべ歌遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の正中線を超える動作や、左右非対称の動作を模倣することができる。 ・わらべ歌独特の言い回しやリズムに慣れ、まねて言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく手本を示す。 ・楽しい雰囲気で行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

学 部	小学部		学 年	3年		
教科等名	国語・算数		グループ名	4グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・読める文字を増やす。10までの数の数え方や表し方が分かる。 ・言葉でイメージする力、伝え合う力を伸ばす。比べたり分類したりする力を伸ばす。 ・言葉や文字、数で表す良さに気付き、学んだことを生活の中で活用しようとする。 					
担当教員	久木崎 未希					
年間授業時数	140/245					
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5	文を読もう 「あっちゃんあがつく」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名50音を読む、書く。 ・絵と文字を正しく組み合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出して文章を読むことができる。 ・平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 ・筆記用具を正しく持ち、文字を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形や筆順は、なぞりがきアプリなどを使用し、個別に指導する。 ・姿勢や持ち方を確認する。
6 7	おつかいをしよう 「おみせやさん」	20		<ul style="list-style-type: none"> ・品物を、指定された数だけ取り出す。 ・買い物場面でのやりとりができる。 ・いろいろな店の名前を知り、それぞれの店で売っているものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○を○個ください。」という指示に応じることができる。 ・個々の名称(りんご、みかん)を聞き、それらの総称(果物)を答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、タイルなどの具体物を用いる。 ・歌や絵本をとおして、楽しみながら理解できる言葉が増えるようにする。
9	わなげをしよう	15		<ul style="list-style-type: none"> ・点数を用いた簡単な表を作成する。 ・複数投げて、合計の数を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数投げて、点数の合計を足し算で求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、タイルなどの具体物を用いる。
10	比べてみよう 「くらべてマンボ」	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物を重ねたり積んだりして比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の長さ、重さ、高さ、広さなどの、量の大きさが分かる。 ・「大きい」「小さい」「中くらい」などの用語が分かり、身体を動かして表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が手で操作できる物を用意する。 ・アプリで比較の学習を行う。
11	はっぴょうかいをしよう	15		<ul style="list-style-type: none"> ・模擬劇を見る。 ・動作や台詞を覚える。 ・声の大きさに気を付けて台詞を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の展開や自分の役割が分かる。 ・簡単な台詞を言ったり、動作をしたりして、演じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ流れで繰り返し練習する。
11 12	あつめてみよう 「かたちあつめ」	10	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の分類。 ・色板を組み合わせて形を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形に注目し、身の回りの物を丸三角四角に分類することができる。 ・図形を組み合わせて見本と同じ図形を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリで形合わせの学習を行う。
12	おはなしをきこう	20		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員による絵本の読み聞かせを見聞きする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に興味をもち、集中して見聞きすることができる。 ・簡単な話の流れが分かり、内容についての質問に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話会と同じ本をその後の授業でも扱い、内容について話す機会をもつ。
12 1	しりとりをしよう 「しりとりしましょ」	20		<ul style="list-style-type: none"> ・音節分解をする。語頭音・語尾音を答える。 ・カードを使ってしりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を叩きながら言葉を言い、語頭音や語尾音を答えることができる。 ・選択肢の中から、しりとりがつながるようカードを選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手拍子に合わせて文字を指し示す。 ・選択肢の数をだんだん増やしていく。
2 3	かいものいこう	20		<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんとお客さんになり買い物ごっこをする。 ・金額を読む。 ・硬貨の枚数を数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物場面でのやりとりの会話ができる。 ・2桁の数字を読むことができる。 ・硬貨の枚数を数え、求められた枚数を取り出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の型を用いて練習する。 ・操作しやすい教材を使用する。
通 年	てあそび・まねっこしよう	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び、じゃんけん遊び、動作模倣をする。 ・わらべ歌遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の正中線を超える動作や、左右非対称の動作を模倣することができる。 ・わらべ歌独特の言い回しやリズムに慣れ、真似して言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく手本を示す。 ・楽しい雰囲気で行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。